

執筆者紹介

藤元 優子 (ふじもと ゆうこ)

1957年生まれ。大阪大学名誉教授。現代イラン文学。訳書『復活祭前日 ゴヤ・ピールザード選集』(大同生命国際文化基金、2019年)が2020年度日本翻訳家協会翻訳特別賞受賞。その他の著書に『イランとイスラム 文化と伝統を知る』(共著、春風社、2010年)、『CDエクспレス ペルシア語』(白水社、2003年)。訳書に、『天空の家 イラン女性作家選』(段々社、2014年)。

鈴木 珠里 (すずき しゅり)

中央大学総合政策学部、上智大学 言語教育研究センター非常勤講師。現代イラン文学。訳書に、ジャーレ『古鏡の沈黙』(ザフラー・ターヘリー解説、共訳、未知谷、2012年)、『現代イラン詩集』(共編訳、土曜美術出版販売、2009年)。著書に、『イランを知るための65章』(共編著、明石書店、2004年)。

008

中村 菜穂 (なかむら なほ)

1981年生まれ。大阪大学大学院人文学研究科助教。著書に、『世界の文学、文学の世界』(奥彩子ほか編、共著、松籟社、2020年)、『イラン研究万華鏡』(共編著、東洋研究所、2016年)など。訳書に、ジャーレ『古鏡の沈黙』(ザフラー・ターヘリー解説、共訳、未知谷、2012年)、『現代イラン詩集』(共訳、土曜美術社出版販売、2009年)。

[編者]

岡 真理 (おか まり)

1960年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科教授。現代アラブ文学／パレスチナ問題。著書に、『ガザに地下鉄が走る日』(みすず書房、2018年)、『アラブ 祈りとしての文学』(みすず書房、2008年／新装版2015年)、『椰子の木陰で 第三世界フェミニズムと文学の力』(青土社、2006年、新書版、2020年)など。訳書に、ターハル・ベン＝ジェルーン『火によって』(仏語、以文社、2012年)ほか。中東現代文学研究会代表。科研基盤研究(A)「トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領域横断的研究」代表。